

家庭、技術・家庭

生活や社会の変化に主体的に対応する資質・能力を育成する授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は題材計画の例と対応

- ① 児童生徒の身近な生活との関わりや、社会とのつながりを重視して題材を設定する。また、各指導事項の関連を図り、系統的・総合的に学習を展開できるように題材の構成を工夫するとともに、実感を伴った理解を深める実践的・体験的な活動の充実を図る。
- ② 問題解決能力を育成するために、家庭科、技術分野、家庭分野における学習過程を踏まえて題材を構成する。また、ICTを効果的に活用するなどして学習過程の各段階の充実を図る。
- ③ 題材を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にするとともに、生活の営みに係る見方・考え方、技術の見方・考え方を働かせた児童生徒の姿を想定し、授業においてその姿を見取り、価値付ける。
- ④ 自分の生活が家庭や地域社会と深く関わっていることを認識したり、自分が社会に参画し貢献できる存在であることに気付いたりすることができるように、学習した内容を実際の生活で生かす場面を設定する。

資質・能力の育成に向けた、家庭科の学習過程を踏まえた題材計画の例

小学校第6学年 題材名「家族のために栄養のバランスのよい休日ランチを作ろう」（全9時間）
「B衣食住の生活」(3)「栄養を考えた食事」ア(4)(ウ)イ



◇題材の目標

- (1) 食品の栄養的な特徴と組み合わせ、献立を構成する要素、1食分の献立作成の方法について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
[知識及び技能]
- (2) 1食分の献立の栄養バランス、調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
[思考力、判断力、表現力等]
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養のバランスを考えた1食分の献立について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。
[学びに向かう力、人間性等]

家庭科の学習過程の参考例

題材計画の例

各学習過程の指導のポイント

生活の課題発見 - 生活経験や学習したこと等を基に、生活を見つめる。 - 生活の中から問題を見いだし、解決すべき課題を設定する。
解決方法の検討と計画 - 設定した課題を解決できるよう、知識及び技能を習得する。 - 習得した知識及び技能を活用し、解決に向けて計画を立て、見直しをもつ。
課題解決に向けた実践活動 立てた計画に沿って、調理や製作等の実習、調査、交流活動などを実践する。
実践活動の評価・改善 - 実践した実習や調査、交流活動などを振り返る。 - 振り返ったことをグループ等で発表し合い、計画や実践の改善策を考える。
家庭・地域での実践 課題を解決する力と実践的な態度を養うため、考えた改善策を家庭や地域で実践する。

時	学習活動
1	普段の自分たちの食生活を振り返り、食生活における課題を設定する。
2	給食が主食、主菜、副菜から構成されていること、栄養素の主な働きによる3つのグループの食品がバランスよく組み合わせられた1食分であることを確認する。
3	ごはんとみそ汁に主菜と副菜を組み合わせた「家族のための栄養のバランスのよい休日ランチ」1食分の献立を作成する。
4	栄養教諭からのアドバイスやグループの意見交流を基に、前時に作成した献立をよりよいものに見直す。
5	必要な材料や分量、用具、手順を調べて調理計画を立てる。
6	ゆでる調理、炒める調理の方法を活用した副菜の一人調理実習を行う。
7	調理計画を見直す。
8	家庭実践
9	家庭実践を撮影した動画を基に振り返る。

【生活の課題発見】
児童が、日常生活の中にある問題（解決すべき事柄）に気付くことができるように手立てを工夫します。
例：アンケート結果や比較資料等の提示、取材活動や調査活動、日常生活の振り返り、体験活動等の設定 ①

【解決方法の検討と計画】
これまでの生活経験、家庭でのインタビュー、ICT機器を活用して収集した情報等を基に、課題について様々な角度から考えることができるようにします。 ②

【課題解決に向けた実践活動】
立てた計画に沿って調理や製作等の実習、調査、交流活動等を実践する際には、その過程で気付いたこと等を記録することで【実践活動の評価・改善】が充実します。 ③④

【実践活動の評価・改善】
実践活動の記録を基に、課題の達成状況を振り返り、成果と課題や、考えたこと等を発表し合い、他者からの意見を踏まえて改善策を考えると同時に、次の課題を明確にすることが大切です。 ④

※上記に示す学習過程は、例示であり、上例に限定されるものではありません。

家庭科における資質・能力を育成するためには、題材を通して生活の営みに係る見方・考え方を働かせつつ、生活の中での様々な問題の中から課題を設定し、その解決を目指して解決方法を検討し、計画を立てて実践するとともに、その結果を評価・改善するという学習過程を重視することが大切です。 ②③